

株式会社 松屋 10月上売速報

※数値は速報値ですので、毎月中旬に発表する確定値と誤差が生じることがあります。

店名	売上高 対前年 増減率(%)	概況
銀座本店	4.2	銀座店は、キャリアゾーンの婦人衣料品において、秋物実需期の主力アイテムとなるニット・ジャケット等の不調があり売上が伸び悩みましたが、素材や製法等に特化した高価格帯・ラグジュアリーゾーンでコート等のアイテムが好調に付き、婦人衣料品全体の売上高は前年を上回りました。一方、免税売上高につきましては、化粧品に代表される自家需要商材に買上動向が大きくシフトし全体を牽引するも、売上高はほぼ前年並みにとどまりました(売上高前年比0.9%減、免税客数前年比は0.6%増)。また、免税売上高を除いた国内のお客様につきましては、8月末にリニューアルした和洋菓子売場の好調等に加え、話題性のある文化催事の開催等も加勢し、入店客数(前年比4%増)は前年を越え、売上高も前年比で5.8%増となり堅調に推移しました。なお、銀座店全体の売上高は、前年との曜日廻り差異(日曜日1日減、その影響度合いは約1.2%減)はあったものの、3ヶ月連続で前年を上回りました。 浅草店は、化粧品が2桁以上売上を伸ばし、加えて婦人衣料品、食品部門の寿司弁当・洋菓子も好調に付き、店全体の売上高も3ヶ月連続で前年を上回りました。

※ 上記「銀座本店」の数値は、「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。

※「10月上売報告」は、11/15(木)15時の開示を予定しております。

(ご参考)

銀座店	4.4	「銀座店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。
浅草店	2.7	「浅草店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。